



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和6年4月24日

5月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

さくら



校長 さんべい 三瓶 あつし 淳

今年度の入学式は、桜が満開となる日に行われました。朝は薄曇りでしたが、式が終わって下校する頃には、新入学児童の親子を春の柔らかな陽射しが暖かく包んでいました。改めて、1年生のご家族の皆さま、創立124年目の伝統をもつ城郷小学校へのご入学おめでとうございます。



さて、去る4月14日に行われた第29回小机城址まつりに5名の教職員並びに14名の子どもたち、そしてそれをサポートして下さる保護者の皆さま方と参列してきました。今年度はフルバージョンに戻るということもあり、三会寺に集まった時からまつりへの熱気は高まっていました。学校関係者は出演役が割り振られているのですが、重量のある甲冑を着たり、和装の衣装を着たり、またわらじを履いたりして、地域の皆さまが見ている中を練り歩くことは、人生の中でも貴重な体験と感じました。練り歩く教職員や子どもたちへ、沿道より声を掛けてくださった地域の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、フルバージョンに戻ったパレードに参列できたことは一生の思い出となりましたが、実は、その前日に小机市民の森で行われた出陣式のリハーサル中にもそれと同じくらい感動的な体験をしました。本丸広場には舞台が設置され、笠原公（港北区長）をはじめ重臣らが座りました。

「三献の儀」や「兜着装の儀」「出陣宣言」など諸作法を中心に確認が行われている時です。ふっと辺りを見渡すと、本丸広場には春の風が吹き、ピンク色の小さな花びらが、太陽の光を受けてきらきらと輝きながら舞い落ちていくその様は、まさに息をのむ光景という言葉が当てはまるものでした。その余韻に浸っていた時の自分は、戦国時代を模した劇中にいるかのような錯覚さえ抱きました。



桜の花言葉は、一般的に「精神の美」「優美な女性」とされていますが、花の種類によっても少しずつ変わっていくようです。ソメイヨシノは「純潔」「優れた美人」、枝垂れ桜は「優美」、そして八重桜は「豊かな教養」「おしとやか」という花言葉がありました。そこで本校のシンボルでもあるイチヨウの花言葉を調べてみると「長寿」「荘厳」とありました。冬季は葉を落としていたイチヨウの木にも、あっという間に青々とした葉が付きました。校庭の端にドーンと大きく育つイチヨウの木と校庭の防球ネット裏に一列に並んで立っている桜の木。その立ち姿や花言葉からも城郷小学校にこれらの木を植樹した方々の思いを感じ取ることができました。